

草加市振興計画審議会 第1～2回会議での意見等と対応等

※「内容」が「一」の項目は、事務局からの提案事項等

No.	資料番号	ページ	該当箇所	意見等	対応	回
1	資料2	全体	全体	・本審議会は第三期基本計画について審議するが、第一期と第二期がそれぞれどのようなものであったか。また、どのように異なっているのか。	・第一期も第二期も、これらご審議いただく第三期についても、基本構想の実現に向けて市政運営を網羅的に施策として体系化している「計画」という点では本質的には異なるものではないが、一部変更した部分もある。 ・具体的には、第一期において教育については1つの施策であったが、第二期から3つの施策に分割し、施策数が39から41に変更になった。	第1回
2	資料2	6	第二期基本計画の体系	・施策名を見ても何をやっているのか具体的にわからない。	・基本計画の各施策のページで「施策の意図」を記載し意図の実現のために「現状と課題」を整理し、「施策の方針」「施策の柱」において取組の方向性や内容について記載している。 ・より具体的なものとして事務事業があるが、それらは実施計画において各施策に位置付け(記載)している。	第1回
3	資料2	9	「基本的な考え方」の(3)	・基本計画を見ても予算的なことが一切触れられていない。予算的なことを考慮しなければ、やるべきことやできることが考えられないのではないのか。	・予算については実施計画策定時に検討するものであり、そういう意味では総合振興計画全体として見れば、予算的なことにも触れられている。	第1回
4	資料2	9	「基本的な考え方」の(2)	・SDGsに対する取組は、SDGs単体として取り組むのか、それともSDGsに合わせてそれぞれの施策を進めるのか。もし、後者であれば全体的に考えないといけない。	・基本計画全体に対して、SDGsの要素を踏まえながら検討していきたい。	第1回
5	資料2	全体	全体	・計画の中には、市がやることのすべてが記載されているのか。記載されるべき考えもあるが、市が重点的に実施することを記載するとして検討しないと総花的な計画になってしまうのではないのか。	・基本計画は考え方や方向性というものを記載しており、実施計画においては、すべての事務事業を記載している。そういう意味では総合振興計画全体としては、行政が行うことすべてが記載されている。	第1回
6	資料2	12	策定スケジュール	・審議内容が広範囲にわたっている中で、審議会の回数にも限りがあることから、次回開催の審議会の資料を事前に送付いただくことはできないか。	・次回審議会の会議資料について、都度、事前に送付するよう対応する。また、質疑書というものを用意させていただき、事前に質問等を承ることで、回答についてできる限り保留(次回会議で回答)とならないよう効率的に進めていきたい。	第1回
7	-	-	-	・施策を実施したことによる目標の達成状況や効果測定のようなものはどのようにしているのか。	・第三期基本計画策定に向け実施した評価として、各所管において施策評価シートの作成による評価を実施した。結果については第2回の審議会の内容にもなっているため、第2回審議会において説明させていただく。	第1回
8	-	-	-	・「施策34 医療環境の充実」はどの程度進捗しているのか。	・第三期基本計画策定に向け実施した評価結果では、「B(施策が予定通り推進できた)」となっており、一次・二次医療体制の確保に努める中で、新型コロナウイルス感染症対応と重症患者の受け入れの両立ができたという	第1回

					評価になっている。	
9	資料3	-	質疑書について	質疑書の書式のデータをいただくことはできないか。	・審議会後に電子メールで委員の皆様へ送付させていただく。(11/28(月)に送付済み)	第1回
10	資料3	-	-	・審議会は4月までとなっているが、委嘱書に任期は2年となっている。4月以降の予定はどうなっているのか。	・第三期基本計画の策定に関する審議会については4月の答申をもって一区切りとさせていただき、その後、変更等の必要が生じた場合に、あらためて審議会の開催をご案させていただく。もし、計画に変更等が無い場合については、審議会は開催しないため、そのまま任期満了を向けることになる。	第1回
11	-	-	-	・任期を2年間としている理由はなにか。	・委員の任期については「振興計画審議会条例」において定められているところであり、昭和41年の制定当時に任期2年が妥当という判断から2年となったものとする。	第1回
12	-	-	-	・机上にある参考資料は毎回用意していただけるのか。また、書き込み等をする場合があるので、参考資料について委員ごとに毎回同じものを用意していただきたい。	・参考資料については事務局で保管し、毎回審議会ごとに用意する。また、本日の参考資料を次回以降、それぞれの委員専用として管理していく。	第1回
13	資料6	6	婚姻数について	・令和2年度までは減少傾向にあるが、令和3年度は増加しているということで間違いないか。間違いない場合、考えられる理由はあるか。	・令和3年度は増加しているということで間違いない。理由として考えられるのはコロナ禍における社会情勢が不透明ということに対し婚姻を控えたということも考えられるが、婚姻届を出された方へのアンケートやヒアリング等を実施したわけではないので、正確な理由については把握できていない。	第2回
14	資料6	4	人口推計について	・下のコメントの2つ目「64歳以上の割合」とあるが、「64歳以下下の割合」ではないか。	・ご指摘の通りなので、資料の修正をさせていただく。	第2回
15	資料6	5	世帯について	・グラフの凡例に「その他」とあるが、どういった世帯がその他に分類されるのか。	・「その他」には、3世代構成や把握ができない世帯等が該当する。	第2回
16	資料6	4	人口構成について	・人口構成について、全国や埼玉県の平均と比較して30代の人口が落ち込んでいることについて、原因は把握しているのか。	・割合について全国や平均との差なので超える部分があれば下回る部分があるが、30代での差が少なくなることについては、この年代で住宅を購入するなどによって転出が増えるために、20代や40代が平均を上回っていることと比較して、30代の割合が平均と同じような構成比まで下がるのではないかと推測している。	第2回
17	資料6	7	転入・転出について	・主な市区間での転入と転出について世代別の分析はないのか。	・元データがあるので、分析は可能と考えるが、今回の総合振興計画の策定に当たって、世代別の転入・転出の分析は行っていない。	第2回
18	資料6	11	産業について	・「宿泊業・飲食サービス業」について、事業所数は増加しているのに、従業者数が減少しているのはどういった理由が考えられるのか。	・飲食サービス業には、持ち帰り飲食サービス業が含まれており、コロナ禍におけるテイクアウト需要の高まりに対応した飲食店が増えたのではないかと考えている。 (委員からの意見(現状報告))	第2回

					・商工会議所において、飲食業の会員がものすごく増えている。従業員を雇用せずに1人で新規に開業される方が増えているという状況があるので、このような調査結果になっているものだと考える。年齢が比較的若い方が脱サラをして新たに起業するケースが多く、草加市内においては飲食向けの物件も足りなくなっており、居抜き物件が発生した場合でも瞬時に埋まるという状況になっている。	
19	資料6	24	調査設計について	・施策評価市民アンケートを送付した3,000名はどのように選んだのか。	・18歳以上の男女個人を対象に無作為抽出によって選んでいる。	第2回
20	資料6	24	調査設計について	・草加市の人口に対して、3,000人に配布では少ないのではないかと。	・調査を行うに当たっては3,000人程度への配布で一定の結果を得られるものと考え実施しているが、配布数自体を多くすることでより多く意見をお伺いできることはあると考える。しかし、配布数を多くすれば、それだけ多くの費用がかかるため、予算との兼ね合いも含め3,000人とした。	第2回
21	資料6	22・26	検証結果とアンケート結果について	・アンケートにおける満足度と重要度の分布と、施策検証における評価(A,B,C評価)が一致していない(満足度が低いのにB評価(予定どおり)としている等)が、こういったギャップについては、どう考えているのか。	・市民の皆様が求めるレベル感でのニーズがある中で、厳しい財政状況等から、市民の皆様にご満足いただける事業規模や予算規模を確保することが困難であり、ニーズに見合うように進捗を図れていないということは認識している。少なくとも我々としては、予算の範囲内で計画したことを実施しているという意味でB評価(予定どおり)としているが、それが市民の皆様が求めるレベル、満足できるレベルではないということであると考えている。	第2回
22	資料6	26	アンケート結果について	・アンケート結果について庁内でどのように周知し、活用しているのか。	・評価結果については、各所属への冊子の配布をしており、アンケート結果について活用するように周知を行っている。また、地域経営委員会のいう市の附属機関において、特にA分類(重要度が高く、満足度が低い施策)について議論いただき、その結果についても施策の検討等に活用するように庁内で共有している。	第2回
23	資料6	26	アンケート結果について	・「重要度が高い」施策を中心に評価をしたということに理由はあるのか。また、「重要度が低い」施策について分析はされていると思うが、どのように使われているのか。施策を考える上では、市民目線に加えて職員目線での必要性という判断軸もあり、市民の考えと職員の考えのすり合わせをどのようにしているのか。	・すべての関連する施策について重要性や必要性を考慮して実施すべきであるが、現状は予算等の兼ね合いもあり、ある優先順位をつける中で、施策を絞って実施しているといった状況になっているが、今後に向けてはご指摘の内容を踏まえて施策の検討を進めていきたい。 ・第三期基本計画の個別施策の検討に際して活用している「施策立案シート」には、このアンケート結果も含まれており、その内容も踏まえて、現在庁内において検討を進めているところである。	第2回
24	資料6	26	アンケート結果について	・施策評価市民アンケート結果について、見たことないがどこでみることができるのか。	・市のホームページで公表している。	第2回
25	資料6	26	アンケート結果について	・アンケート結果の市民への周知について、高齢の方はホー	・市広報の場合は紙面の都合があるため、すべてを掲載することは困難と	第2回

			いて	ムページを見ない方もいるので、回覧板や市の広報に掲載した方がいいのではないかな。	考えるが、可能な限り周知できるようホームページ以外における周知方法について今後検討していきたい。	
26	資料8	5	②10行目～	・旧松原団地内の現状で更地の部分の土地利用については、方向性が見えているのか。URの土地ということもあり、記載がないと思うが、市の関与はないと考えてよいか。	・URの土地であるため、URによって土地利用の方向性というのは検討がされていると伺っているか、土地利用が進んでくる中で、まちづくりにまったく関与しないということはなく、本市、UR、獨協大学、東武鉄道や地元の方などの関係者が議論する場は設けられており、定期的に協議を進めながら連携して進めている。	第2回
27	資料8	5	②11行目	・東埼玉道路に関する記載があるが、この地域については同様に地下鉄8号線も誘致の動きがあり、誘致には人口増加が必要である。人口増加は、市街化調整区域の市街化区域への編入するような政策がなければできないと考えるが、そのような政策は記載しないのか。	・この部分への記載は市が行った事業や進捗があった事業を記載している部分と部分となっており、市の政策や施策の方向性について記載している部分でない。東埼玉道路を記載したのは、国によって事業化されたということで、今後生じるであろう広域的な影響について、今後の前提として認識しておく必要があるとの観点から記載している。	第2回
28	資料8	-	-	・今回の計画策定に当たっては、定住型の人口対応、定住者向けの対策というのは変えないという認識でよろしいか。流動型の人口対応、流動型のコミュニティ形成、流動型の豊かさ形成といったところはあえて取り上げないということではよろしいか。	・基本構想について、策定当初、定住型に対応した形で策定されているため、社会状況の変化はあるものの、基本構想の20年という計画期間を踏まえて、基本計画についても定住型に対応した内容での策定を考えている。	第2回

草加市振興計画審議会 第2回会議での意見で回答保留だったもの

No.	資料番号	ページ	該当箇所	意見等	対応	回

文言の統一(基本構想とも統一を図ります。なお、固有名詞等は除きます。)

	修正前	修正後		修正前	修正後
あ	あげられます	挙げられます	な	無い、無くす	ない、なくす
	併せて、合わせて	あわせて	は	始まって	はじまって
	活かし	いかし		一人一人	一人ひとり
	いたって	至って	ま	目指す	めざす
	おります	います		基づき	もとづき
か	関わらず	かかわらず			
さ	更なる	さらなる	他		二桁数字は半角、%は全角
	障害(者)	障がい(者)			
	少子・高齢化	少子高齢化			
	すべて	全て			
	草加市	本市[固有名詞等は除く]			
た	誰もが	だれもが			
	作る	つくる			
	繋がる	つながる			
	当市	本市			
	とおして	通して			
	共に	ともに			
	捉え	とらえ			
	取組み	取組			

※その他、所要の整備等(読点挿入、改行等)を行っています。